

日本災害看護学会 令和6年能登半島地震活動報告

2024年3月7日(木)~3月10日(日)

活動隊員：酒井 彰久

1. 活動日時

2024年3月7日(木)~3月10日(日)

2. 活動場所

珠洲市立大谷小中学校(石川県珠洲市大谷町1字78番地)

3. 石川県珠洲市の被害状況(石川県:3月8日14時現在 石川県庁)

人的被害 死者:103人 うち災害関連死:6人 負傷者:重症47人、軽症202人

住家被害 建物全壊・半壊・一部損壊:8,759棟 非住家被害:3,532棟

4. 避難所の状況

【避難者数】

3月7日(木):30人

3月8日(金):35人(2次避難から一時帰宅者2名)

3月9日(土):38人

【避難所運営】

避難所運営体制の変更なし。責任者が不在になる時間は、千葉県職員とともに外部支援者対応を行った。前々任から発熱者対応していたが、3月6日に隔離解除しており、その日以降で発熱者は見られなかった。避難者数は、片付け作業のために2次避難先から一時帰宅した方やその家族が来たことにより増加している。日中は不在であり、夜間のみの利用である。

【避難所の生活状況】

・食事場所の変更

降雪があったものの、気温は徐々に上昇し晴れ間も見えていた。日中は避難者が不在であり、昼食のために戻ってくる方が5名ほどであった。食事は、体育館にて配布を行い談話スペースで食べていたが、調理室横の食堂に変更となった。食事場所の変更について特に不満の声はなく、全員が一堂に食事を行い、時に団らんする姿が見られた。食器類はすべてディスプレイであり、食事が終了した後はそれぞれがごみの分別を行い、アルコールにて机を拭いている方もいた。

・生活スペースの一時的な変更

3月12日(火)に卒業式を控えており、体育館の舞台側半分を式典に使用する予定であるため、生活スペースの間隔を狭くし、式典スペースを確保した。3月10日(日)の午前中にかけて、責任者と消防職員、避難者2名、支援者にてブルーシートをはがし、モップや掃除機にて清掃を行った。

・洗濯場の節水について

洗濯場に 1 トンの貯水タンクが設置されているが、半日を経ずして半分まで水量が下がっている状況である。現在、洗濯機は二槽式洗濯機を 2 台使用しているが、使用方法に慣れていない方が多く、水量が通常よりも多く消費していることが考えられた。物資リーダー、千葉県職員とともに 1 台を縦型洗濯機に変更し、設置作業を行った。2 日に 1 回自衛隊の給水が継続されているが、避難所内の全ての貯水タンクを満杯にすることが困難であり、優先的に使用するタンクをスタッフミーティングで話し合い、洗濯、トイレの貯水タンクを優先することに決定した。

・仮設トイレの使用方法について

現在、仮設トイレは体育館入口に以下の並び順で 4 基設置されている。

男性 小用	男性 小用	女性、男性 大用	女性、男性 大用
-------	-------	----------	----------

右側の女性・男性との兼用トイレは木目調で、扉から便器までの間隔も広く使用しやすいため、男性の利用も多い。便器周囲が汚れていることが頻発したため、全員で清潔を保つことができるように座って排泄を促すポスターを設置した。

5．支援活動の実際

降圧薬を内服している方の血圧測定や内服確認、下肢の観察を継続するとともに、清拭や着替えの援助を行った。点眼薬や空いている病院について相談があり、医療福祉調整本部の情報や避難所本部に配布されている情報を確認しながら対応した。

医療班の巡回として、3月8日(金)より週3回の保健師チームによる健康相談が始まり、JRAT による巡回リハビリがあり、避難所や在宅避難者の情報共有をおこなった。また、大谷診療所の再開に向けて珠洲市総合病院より、医師 1 名、看護師 2 名、事務職員 2 名の訪問があり、災害看護学会が行っている避難所支援について、これまでの経過と今後の学会の方針について情報提供を行った。

6．支援活動を通しての所感と課題

一時的に生活スペースの間隔が狭くなっているが、全員で良い卒業式にしようという温かい雰囲気にも包まれている。一方で、長期化する避難所生活に対してストレスも溜まっている状況である。これまで一人暮らしをしていた方が、集団生活になじめず、住民間の不満にもつながっている現状がある。今回、ある方の臭いに関する問題に介入を行ったが、個人の生活に関する介入は、住民間でも介入しにくい現状がある。そこで、外部支援が介入することが、1つの方法として挙げられるが、介入する方との関係性が構築した上、かつ本人の性格や生活背景などを理解した上ではないと逆効果であることも考えられる。今回、支援者の名前を覚えていてくれたこと、本人から支援者に歩み寄ってくれたことなどの状況を鑑みて、介入を行うことができた。一時的な解決とならないように、支援者間で引き継いでいくとともに、行政とも連携をとっていく必要がある。

【活動の様子】



卒業式に向けた準備



卒業式に向けた準備



新たに設置した洗濯機